

トヨタ自動車

# 需要変動に対応、高品質維持



台車に載せて車を搬送する生産ライン



13年6月の株主総会で開催する品質もさらに高まることで、トヨタの工場に展示されることなく、車両の搬入が実現されました。

## 国内生産300万台死守

技術・デザインでも貢献

「クラウン」の側面デザインは、生産技術部門の協力があってはじめて実現した。一方で、部品メーカーにとって重要なのが、トヨタがはじめて実現した。新規開拓副社長(現ジエイテクト会長)が、トヨタをはじめとする取引先に、タガ掲げる「年間国内生産300万台」をさらに高めのトップを務めてきた。長年にわたり生産部門のトップを務めてきた

は、生産性の向上に尽力する。いろいろな意味でのリードタイム短縮活動を愚直に続け、「真の競争力」への答えを探つていった。豊田章男社長は5月の記者会見で、引き続き生産改革に挑む姿勢を鮮明にした。トヨタの生産台数は年間生産台数にして88万台あった。これを正社員の雇用に手を付けることなく、70万台を切ることで、この国内生産台数を切ることまで引き下げてきた。この国内生産台数は、組立工程は

「今年取り組むテーマは、生産性の向上に尽力する。いろいろな意味でのリードタイム短縮活動を愚直に続け、「真の競争力」への答えを探つていった。豊田章男社長は5月の記者会見で、引き続き生産改革に挑む姿勢を鮮明にした。トヨタの生産台数は年間生産台数にして88万台あった。これを正社員の雇用に手を付けることなく、70万台を切ることまで引き下げてきた。この国内生産台数は、組立工程は

## あくなき生産改革

「柔軟なライン」世界展開

「今年取り組むテーマは、生産性の向上に尽力する。いろいろな意味でのリードタイム短縮活動を愚直に続け、「真の競争力」への答えを探つていった。豊田章男社長は5月の記者会見で、引き続き生産改革に挑む姿勢を鮮明にした。トヨタの生産台数は年間生産台数にして88万台あった。これを正社員の雇用に手を付けることなく、70万台を切ることまで引き下げてきた。この国内生産台数は、組立工程は

# モノづくりに柔軟なスリムで柔軟なモノづくりに向けて

「真の競争力」を追求するトヨタ自動車は、生産部門の改革も進めている。製造品質の高さをテコに世界で成長してきただけに、生産部門の実力は折り紙付きで、社内でも大きな力を持ってきた。しかし2008年のリーマン・ショック後の落ち込みで、過大な生産設備が一転して経営の重しになってしまった。現在の課題はいかに顧客からの需要の変動に柔軟に対応できる生産体制を作るかだ。



海外工場の競争力も高まっている(「ハイラックス」を生産するタイのバンボー工場)



名古屋駅前のランドマーク

## ミッドランドスクエア



東和不動産株式会社  
www.midland-square.com

## 地球が現場です。

私たちが現在、60ヶ国以上のグローバルネットワークを通じて、世界中のお客様とビジネスを展開しています。金属、自動車、自動車部品、機械、エネルギー、化学品、エレクトロニクス、食料、機器、保険、生活資材など、幅広い事業領域で、豊かで快適な社会づくりに欠かすことのできない商品、サービスを提供しています。

自らの役を果たし、地球規模でパートナーと共に新たな価値を創造する。

世界のマーケットを熟知したプロフェッショナル集団として、豊田通商は挑戦を続けています。

グローバルパートナーシップ。商社未来形、豊田通商。

豊田通商株式会社

金属/グローバル生産部品・ロジスティクス/自動車/機械・エネルギー・プラントプロジェクト/化学品・エレクトロニクス/食料/生活産業  
名古屋本社:名古屋市中区名駅9-8 セントラリーアイビル TEL 052-584-5013  
東京本社:東京都港区港南2-3-13 TEL 03-8208 TEL 03-4306-8200  
www.toyota-tsusho.com

## Creating the next value

—モノづくりで、まだない価値を。—

過去から現在。そして未来へ。

より安全で安心に、より便利で快適に、より地球にやさしく。

モノづくりの進化は、時代を、社会を動かしてきました。

モノづくりで、まだない価値をつくりだすこと。

みなさまの暮らしや、グローバル社会にもっともっと貢献するために、

わたしたちの技術を、産業や社会のさまざまな場面で使っていただくこと。

それがジェイテクトの存在価値だと、わたしたちは考えます。

ジェイテクトグループは、常に時代の先を捉え、

進化しつづけるリーディング・チャレンジング・カンパニーです。

JTEKT



JTEKT

Koyo

TOYOTA

TOYOTA